

大潟区地域協議会の主な活動について

令和6年2月29日

1. 諮問・答申

市長その他の市の機関から、政策判断の参考のために「区内の住民の生活に及ぼす影響」の観点から意見を求められるものまたは必要と認めるものについて、審議し、市長、その他の機関に意見を述べる事ができる。

- ★照明設備（大潟町中学校屋外テニスコート）の廃止について（R2）
- 上越市青少年野外活動施設（大潟野外活動）の廃止について（R5）

2. 報告事項

市長その他の市の機関、担当者から情報提供がされる。

- ★冬期道路交通除雪計画（毎年）、工業用水道事業の廃止及び事業資産の譲渡について（R4）、日帰り・宿泊施設の適正配置の取組について

3. 地域活動支援事業の審査（令和2年度～4年度まで実施）

地域の課題解決や活力向上に向け、住民の自発的・主体的な活動を推進するために、各自治区にあらかじめ配分された予算の範囲で事業に必要な経費を実施団体に補助する制度。

4. 地域独自の予算（令和5年から実施）

地域の課題を解決し、地域の活力向上を図る取組の実現に向けて、上越市の予算を要求する仕組み。

5. 自主的審議事項（別紙参照）

- ★大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用の促進について（R2～R4）
- 大潟野外活動施設の今後の活用について（R5）

6. 協議事項

- ★大潟区における活性化の方向性について（R5）等

7. 地域協議会だよりの発行（年3回、1回あたり3,300枚印刷、11回発行）

1年交替の4名で編集委員会を編成し、編集・原稿依頼・校正・印刷・区の町内会の世帯数に合わせ仕分け。最終校正は総合事務所の事務局に依頼。

8. 先進地視察・研修

- ★雪だるま高原キューピットバレースキー場（安塚区（R3））
- NPO法人越後妻有協働機構（十日町市松代）（R5）等

9. 頸北地区地域協議会委員合同研修会（令和4年度：大潟区担当）

頸北地区の地域協議会委員が一同に会し、共通のテーマによる研修を毎年順番に開催。

- ★「上越市の地域自治と地域協議会」をテーマに、牧田実氏（福島大学人間発達文化学類教授）から講演。（R4：大潟区担当）
- ★「日本の中の上越・頸北」をテーマに中西總氏（教育委員会歴史文化指導監）（R5）等

10. 地域の他団体との意見交換

- ★鵜の浜人魚館の利活用の促進について意見交換（R4）、大潟連絡会議（年1回、まちづくり大潟、大潟町内会長連絡協議会、大潟区総合事務所、大潟区地域協議会）等

大湊区地域協議会での主な審議事項

■自主的審議事項「大湊健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」

令和2年度（2021年）

月 日	項目	主な内容
2月18日 木	第11回地域協議会	自主的審議事項課題の募集 12件
3月18日 木	第12回地域協議会	自主的審議事項を絞り込む 「鵜の浜人魚館の利活用促進」に決定

令和3年度（2021年～2022年）

月 日	項目	主な内容
4月22日 木	第1回地域協議会	今後の進め方を検討
6月10日 木	第3回地域協議会	今後の進め方を検討
7月6日 火	鵜の浜人魚館の現地視察	鵜の浜人魚館の館内視察
8月19日 木	勉強会	視察結果を委員内で情報共有
9月16日 木	第5回地域協議会	今後の進め方を検討
10月28日 木	第6回地域協議会	鵜の浜人魚館社長から現状について報告
11月10日 水	キューピットバレイ視察	キューピットバレイの取組を視察
11月25日 木	第7回地域協議会	2班に別れてグループ討議(ワークショップ)
12月23日 木	第8回地域協議会	2班に別れてグループ討議(ワークショップ)
1月27日 木	第9回地域協議会	2班に別れてグループ討議(ワークショップ)
2月24日 木	第10回地域協議会	2班の意見を集約して検討
3月10日 水	検討会	各委員の意見整理
3月17日 木	第11回地域協議会	各委員の意見整理(ワークショップ)

令和4年度（2022年～2023年）

月 日	項目	主な内容
4月28日 木	第1回地域協議会	意見交換会の実施方法について
5月24日 火	鵜の浜人魚館職員との意見交換会	地域協議会の検討内容や鵜の浜人魚館の現在の取組等について意見交換
6月13日 月	第1回検討会	意見交換会後の整理
6月16日 木	第4回地域協議会	具体的な検討方法を検討
6月21日 火	町内会長協議会役員との意見交換会	町内会長の意見を聞き取り
7月12日 火	第2回検討会	意見交換後の整理
7月21日 木	鵜の浜人魚館訪問	人魚館応援隊の現状を確認
7月28日 木	第5回地域協議会	人魚館でのアンケート(案)について検討
8月5日～31日 金水	アンケートの実施	鵜の浜人魚館の利用者に対して 回答数 14名

月 日		項 目	主な内容
8月 9日	火	第3回検討会	具体的な支援内容を検討
8月25日	木	第6回地域協議会	具体的な支援方法を検討
9月 6日	火	第4回検討会	具体的な支援内容を検討
9月22日	木	第7回地域協議会	具体的な支援方法を検討
10月 5日	水	第5回検討会	意見書のまとめ
10月14日	金	第6回検討会	意見書のまとめ
10月27日	木	第8回地域協議会	意見書のまとめ
11月24日	木	第9回地域協議会	意見書の修正
12月15日	木	市長へ意見書提出	意見書の提出
12月22日	木	第10回地域協議会	意見書の提出を報告
1月17日	火	市長からの回答書	市長から回答書が届く（ご支援ご協力を願う）
1月26日	木	第11回地域協議会	（仮称）人魚館サポーターズクラブ設立のための準備委員（5名）を委員から募集

※3月25日（土）（仮称）人魚館サポーターズクラブ会員の募集

※5月27日（土）人魚館サポーターズクラブ設立総会

■自主的審議事項「大湊野外活動施設の今後の活用について」

令和5年度（2023年）

月 日		項 目	主な内容
5月25日	木	第2回地域協議会	今後の進め方を検討
6月18日	日	現地視察	大湊野外活動施設の視察
6月20日	火		
6月22日	木	第3回地域協議会	2班に別れてグループ討議（ワークショップ）
8月24日	木	第5回地域協議会	意見書にまとめる
8月29日	火	市長へ意見書提出	意見書の提出
10月20日	金	市長からの回答書	市長から回答書が届く（有効活用したい）

■協議事項「大湊区における地域活性化の方向性」について（別紙参照）

令和4年度～5年度（2022年～2023年）

月 日		項 目	主な内容
11月24日	木	第9回地域協議会	今後の進め方を検討
12月22日	木	第10回地域協議会	今後の進め方を検討
～ 省略 ～			
3月23日	木	第13回地域協議会	今後の進め方を検討
4月27日	木	第1回地域協議会	決定

令和4年12月15日

上越市長 中川 幹太 様

大潟区地域協議会
会長 佐藤 忠治

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について（意見書）

このことについて、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり当協議会の意見を取りまとめましたので提出します。

記

1 意見書の概要

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進に向けて、市として指定管理者である株式会社大潟地域活性化センターとともに、別紙を基（参考）に利活用促進のための取り組みを進めていただきたいこと。

2 意見書作成の経緯

大潟区地域協議会では、大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館（以下「鵜の浜人魚館」という。）が上越市唯一の温泉街で観光資源の大きなひとつ「鵜の浜温泉」の一角にあるにもかかわらず、利活用の促進が図られていない現状について見聞きしてまいりました。

また、近隣に上越体操場（ジムリーナ）が建設され、東京オリンピックのドイツ体操選手団の事前合宿の受け入れや、体操競技の大会及び合宿の開催による体操関係者の訪問、県立大潟水と森公園の利用者など、交流人口の拡大が期待されておりました。

しかしながら、これらの機会が必ずしも鵜の浜人魚館の利活用促進につながっていない現状については、上越市、特に大潟区にとっては極めて重要な課題として捉えていたことから、令和3年度から大潟区地域協議会の自主的審議事項として「大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について」をテーマに、これまで協議してまいりました。

そこで、鵜の浜人魚館の視察や施設職員の方々との意見交換及び今後の改善の方策や収支報告をお聴きするなかで、このたび地域協議会で協議してきた結果を別紙のとおりまとめたものです。

この意見書が利活用促進及び公費負担の軽減の一助になれば幸いと考えております。

大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館の利活用促進について（案）

今般、新型コロナウイルスの感染が未だ収束の兆しが見えないなか、関係各位においては大変厳しい状況にあるものと認識しております。

そのような中で本年10月29日・30日に鵜の浜人魚館開館25周年記念-秋の感謝祭が開催され、壁画制作お披露目会など多彩な催しが行われました。開館以来今日まで、地域住民の憩いの場、健康維持・増進の場としてこれまで営業されてこられたことに敬意を表します。この意見書を利活用促進の一助にいただければ幸いと考えております。

大潟区地域協議会としましても、市及び㈱大潟地域活性化センターと連携しながら鵜の浜人魚館の利活用の促進、大潟区の活性化、観光振興・交流人口の拡大に向け議論を深め、活動してまいりたいと考えております。

また、㈱大潟地域活性化センターへ当協議会でまとめた利用促進（案）をお伝えいただきますようお願いいたします。

○支援体制について

1. 新たに（仮称）人魚館サポータークラブ（NSC）を設立する

（1）設置目的

情報発信、イベントや館内演出のアイデア出し、環境整備等をサポートし、鵜の浜人魚館の利活用促進を図る。

（2）入会の呼びかけ

入会の呼びかけは、㈱大潟地域活性化センター及び趣旨に賛同する個人が、下記の人材、個人に対し呼びかける。

- ・鵜の浜人魚館が必要としているインターネットを使つての情報発信
- ・PRできる人材・環境整備をすすめる人材（花壇の花植、土手の草刈りなど）
- ・大潟区在住・在勤の個人、趣旨に賛同する個人

（3）事務局の設置

鵜の浜人魚館に置き、会員登録制とする。

2. 人魚館運営協議会を設立して、大潟区内の各種団体との協議・連携の場とする

（1）設置目的

鵜の浜人魚館は、公の施設であり、大潟区の温浴施設でもあるので、地域住民の憩いの場、大潟区内の工場や商業・福祉施設や病院などで働く人達の健康維持・増進の場でもあるので、広く利用を促し、意見を求め、運営に活用する。また、修繕等施設に関する情報共有や、他の観光施設等との情報交換・連携を図る。

（2）参加を呼びかける団体（案）

大潟観光協会、まちづくり大潟、（仮称）人魚館サポータークラブ、大潟商工会、大潟区町内会長協議会、NPO法人大潟スポーツクラブ、大潟区総合事務所など

（3）呼びかけ

呼びかけは、大潟区地域協議会及び趣旨に賛同する個人が行う。

○その他

1. 各種イベントのPRはインターネットを使用すると共に、大潟区内各町内会への回覧で事前に幅広く周知し、関係団体、企業、学校関係者に協力を依頼されたらどうでしょうか。
2. 鵜の浜人魚館開館 25 周年記念壁画制作において、長野県内にインターネットでクラウドファンディングを行ったように、施設改修などに多額の資金を要する場合は新潟県内外の個人および団体を対象に呼びかけたらどうでしょうか。

令和5年8月29日

上越市長 中 川 幹 太 様

大潟区地域協議会
会長 佐藤 忠治

大潟野外活動施設廃止後の跡地の有効利用について（意見書）

このことについて、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、下記のとおり当協議会の意見を取りまとめましたので提出します。

記

大潟野外活動施設の廃止後、大潟観光協会が貸付を受けて敷地を利用する場合には、維持管理や経費の面で大潟観光協会が過度な負担を負うことのないよう次の3点に留意し、協議を進めていただくことを要望します。

1. 大潟観光協会では、跡地をキャンプサイトとして活用するとしてもキャンプ場収入の大幅な増加は困難と予測されることから、貸付する場合の使用料は、無償若しくは低廉な貸付料とすること。
2. 市は「施設廃止後にトリム施設を撤去する」としているが、まだ使用できる遊具も見受けられ、キャンプ場の特徴ある付属施設としても活用できることから、全て撤去するのではなく、使用できる遊具は現状のまま残すことを検討いただきたい。
3. 貸付を受ける敷地内に残置された松くい虫防除等で伐採した雑木等は、撤去すること。なお、大潟野外活動施設は、夕日の森公園と散策道で結ばれているなど地域住民には重要なエリアとなっていることから、その跡地及び周辺の一体的な施設環境の維持に努めること。

大潟区における「地域活性化の方向性」

《大潟区の地域活性化に向けて》

自然をいかし、いのちを活かす 心なごむ潮騒のまち大潟を育む

○構成要素

	内容	分類
①	生活に潤いを与える大切な環境財産として、大潟の水と緑を守り育てる	自然と調和のとれた居住環境の整備
②	鵜の浜温泉、北國街道・潟町宿をはじめとする大潟の歴史遺産や観光資源の魅力を発信	地域の魅力の向上
③	小山作之助をはじめ、地域で活躍した人々の偉業を後世に継承	偉人
④	住民活動やスポーツ・文化活動の中で育まれた住民相互の交流をまちづくりへの参画へと繋げる	まちづくり
⑤	元気で長生きを目指すため、いきいきサロンをはじめとした生きがいづくりや健康管理の充実	福祉

「大潟地域の魅力の向上」を 私たちと一緒に考えましょう



2024年2月29日
大潟区地域協議会



目次

1. 意見交換のテーマ
2. 大潟区に関する情報（簡易版）
3. 地域協議会の「中間まとめ」資料
4. 一緒に考えましょう
5. 今後について

1. 意見交換のテーマ

鶉の浜温泉、北國街道・湯町宿
をはじめとする大湊の歴史遺産
や観光資源の魅力を発信

2. 大潟区に関する情報（簡易版）

上越市第7次総合計画にて

大潟区は

- 地域拠点
- 市街地、田園地域と示されています。



3. 地域協議会の「中間まとめ」資料

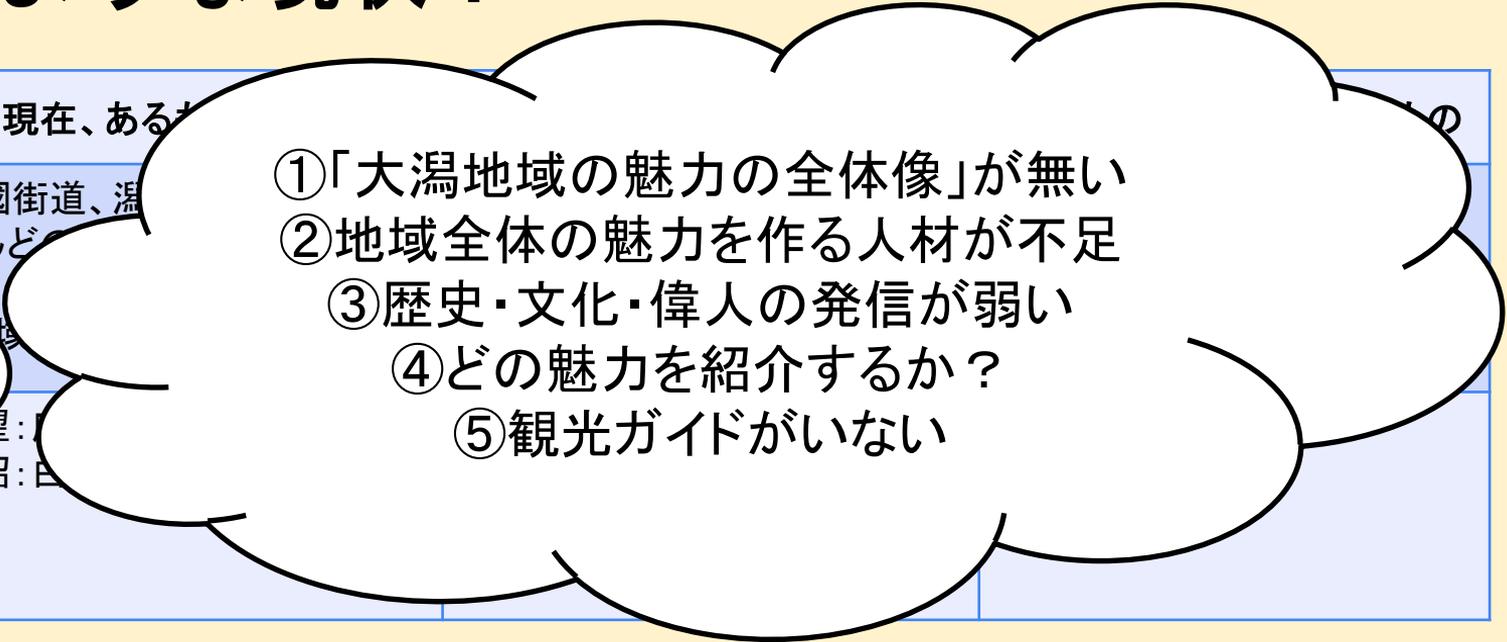
1) 魅力的な歴史遺産や観光資源は何？ 何が魅力？

	現在、あるもの(例示)	探せばありそうなもの	無いので作っていききたいもの
歴史遺産	<ul style="list-style-type: none">・北國街道、潟町宿・どんどの池や周辺の街並み・様々な「地域の宝」・偉人: 笠原文右衛門、小山作之助など		
観光資源	<ul style="list-style-type: none">・眺望: 広大な田園地帯や頸城連山など、水田風景・湖沼: 白鳥飛来、野鳥観察・日本海		

3. 地域協議会の「中間まとめ」資料

2) 歴史遺産や観光資源の魅力発信は？ どのような現状？

	現在、あるか	
歴史遺産	北國街道、湯 どんど	
観光資源	眺望： 湖沼：白	



- ①「大湯地域の魅力の全体像」が無い
- ②地域全体の魅力を作る人材が不足
- ③歴史・文化・偉人の発信が弱い
- ④どの魅力を紹介するか？
- ⑤観光ガイドがない

3. 地域協議会の「中間まとめ」資料

3) 委員からの提案

- ・ 大湫の魅力が一目でわかるWebサイトをつくる

【関連】小学生作成の「大湫の魅力」カルタは展示のみ、名立では販売した

- ・ 歴史関連：行政関連機関などと協働で調査・発信を行なっていく

①佐渡金山にも関連させ、北國街道の調査・発信

②湫町宿：350周年記念の冊子があり、外部に紹介

③湫町宿や北國街道：看板、のぼり旗を設置

- ・ 自然環境の豊かさの紹介

海と海岸線、湖沼、防風林など

- ・ 魅力を発信する組織がほしい

大湫区内の団体等にも呼びかける

予算

- ・ 「地域独自の予算」も検討
- ・ 全国ではどうしているか？

協働について

文化行政課
公文書センター
歴史博物館、等々
(各町村史)
歴史に詳しい人
大湫の関係者
などと協働

4. 一緒に考えましょう

意見交換の方法

- ・ 端的に要点をお話してください
- ・ アイデア出しのルールを確認しましょう
 - ①結論厳禁：批評しない、結論を出さない
 - ②自由奔放：荒削りなアイデアを歓迎する
 - ③質より量：量と多様性を重視する
 - ④便乗歓迎：人のアイデアから連想し発展させる

5. 今後について

皆様のアイデア等をご記入ください。